Aug. 17, 1989

JP 01-204740

APPARATUS FOR AUTOMATICALLY WASHING WEB GUIDE ROLLER

INVENTOR: AKIRA HARA, et al. (1)

ASSIGNEE: NIPPON BALDWIN KK

APPL NO: 63-29659

DATE FILED: Feb. 10, 1988 PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

ABS GRP NO: M892

ABS VOL NO: Vol. 13, No. 506 ABS PUB DATE: Nov. 14, 1989

INT-CL: B41F 35/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To automatically wash the surface of a web guide roller, by separating the web guide roller from a drive source during printing to make the same freely rotatable by a web and connecting said guide roller to the drive source at the time of washing to reversely rotate the same.

CONSTITUTION: A web guide roller 4 is contaminated with ink with the elapse of a printing time to become a state requiring washing. When the web guide roller 4 reaches this state, the operation speed of a printing press is lowered, and a blanket cylinder 7 and a plate cylinder 8 are separated from a web 3 to stop printing. Since the route of the web 3 is held as it is and the web 3 is pulled by a drag roller 9, the web 3 is not printed but folded in a blank stage by a folding machine 10 to be fed out of the machine by a delivery conveyor. In starting the washing of the web quide roller 4, when the control apparatus 12 of an automatic washing apparatus is started, a washing solution is applied to the web quide roller 4 and, at the same time, said web quide roller 4 is reversely rotated by the motor 24 mounted in said roller 4, and the contaminant bonded to the web guide roller 4 is washed with the running web 3 to clean the surface of said roller 4.

(9) 日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

⑫公開特許公報(A) 平1-204740

Silnt. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成1年(1989)8月17日

B 41 F 35/00

A-6763-2C

審査請求 有 請求項の数 1 (全4頁)

系発明の名称

ウエブガイドローラの自動洗浄装置

②特 頭 昭63-29659

会出 顧 昭63(1988) 2月10日

②発 明 者

瑛

東京都品川区旗の台2-9-34

@発 明 者

ジョン マツクフイー

アメリカ合衆国 コネテイカツト州 ローウエイトン ナ

イルケケツドーテラス(番地なし)

金出 願 人

日本ボールドウイン株

東京都江東区平野2丁目16番5号

式会社

原

急代 理 人

弁理士 轉沼 辰之

外1名

191 HE #

1. 発明の名称

ウエブガイドローラの自動洗浄装置

2. 特許請求の範囲

(1) 印刷機、紙工機械等のウエブを導く正転・ 逆転駆動を可能とするモータと鎮モータの回転数 を低減する減速機と譲減速機の出力報をフレーム に結合・離脱を行なう手段とを内離した複数のウ エブガイドローラと、縦各々のウエブガイドロー ラに洗浄板を慎布する手段と、前記ウエブの各種 の走行経路変更に対応して前記モータの正転を 転方向を予め定めて苦択する選択手段と、を動え たことを特徴とするウエブガイドローラの自動洗 冷装置。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は印刷機械に係り、特にウエブを導く多数のウエブガイドローラを用いる輪転印刷機のウエブガイドローラ自動洗浄装置に関する。

(従来の技術)

印刷工程で印刷機の中を走行するウエブ (走行紙)を導くウエブガイドローラは、印刷時間の経過につれてインキ及び抵勤等で汚れてくる。 ウエブガイドローラが汚れてくると その汚れが印刷 低価に移行し商品価値が低下する。 従って新聞船伝 優の場合は印刷作業を中断してウエブガイドローラを洗浄している。

[発明が解決しようとする問題点]

新聞輪転機の如く、1系列に100本を越える ウェブガイドローラを有する印刷機械においては、 既に述べたように手作業にて各々のウエブガイド ローラを洗浄することは、大変な労力を要するこ とであり、又高い所にあるウェブガイドローラを 洗浄することは危険が伴うことである。ウェブガ イドローラの設置されている場所によっては作業 者の手が届き置かったり、或いは狭い為に作業が 困難な場合も多い。

本苑明は、ウエブガイドローラの洗浄を作業者

の手で行なうことの不都合を解消する手段を提供 するものである。

[問題点を解決するための手段]

[(f: H)

ウェブガイドローラの洗浄に際して、印刷機の ウェブの送り速度を疑動にし印刷は中止する。洗 沙装置を作動させると各々のウェブガイドローラ は内蔵する減速機の出力値とサイドプレートとが 難脱状態にあり自由に回転しウェブによって駆動 されていたものが、減速機の出力値とサイドプレ ートとが結合しモータによって逆転しウエブの回

ンド1のウェブロール2から供給されるウエブタール2から供給されるウエブガイドローラ4を提出して多色印刷ユニット5aの圧刷666に別です。シャット別7により圧圧別70円に転びからがウェブ3に転写されたインクがウェブ3に転写されたインクがウェブ3に転写されたインクがウェブ3に転写されたインクがウェブ3に転写される。印刷が完了したウエブ3は再び多数でにあれている。印刷が完了したウェブカイドローラ4に導かれドラッグローラ 9によりがよいで振りない。これで指引っていりに対していませる。

印刷時間の経過に れてウエブガイドローラ4 がインクで汚れて洗がを必要とする時になったならば、印刷機の運転湿度を低下させブランケット 脚7及び展開8をウエブ3から難し印刷を中止する。ウエブ3の経路はそのままとしドラッグローラ9でウエブ3を引っ張っているのでウエブ3は印刷されず自私のまま折り機10で折り役まれ、デリバリーコンペアで機械外に搬送される。

ウエブガイドローラルの疣疹を開始するに当り

転方向と反対方向に回転する。ウエブは依然として級効速度にて正方向に送られているので、ウエブガイドローラ表面の汚れはウエブによってこすり取られる。そしてこの場合ウエブガイドローラの表面の汚れはさらに良く執きとられる。

新聞輪転機においては其建でによってはウエブの走行経路が変化し、それに従い或る位置に対理されたウエブガイドローラは回転方向が反対になる。その為ウェブガイドローラを駆動するを駆動を可能としている。又類御みまでは各々のウェブ走行経路に対する各ウェブガイドローラがそれぞれ正しい方向に回転するよう自動的に制御する。

(発明の実施例)

本発明の実施例を図を用いて説明する。 第1回は本実施例に用いた新聞輪伝機の側面を示 したものでである。通常の印刷時には、給紙スタ

自動洗浄装置の制御装置12をスタートさせると、各々のウェブガイドローラ4の表面に洗浄板が中 むされると同時に内蔵されたモータ24によって 逆転しウェノガイドローラ4に付着した汚れが走 行するウェブ3によって洗浄され清浄な表面となる。

新聞輪転機においては、真健でによる位置が終れてはれた立立の選挙がある。 4 4 b に 5 5 a に 5 a に 5 a に 5 a に 5 a に 5 a に 5

に構成されており、制御装置12は各々のウエブ 走行経路に対する各ウエブガイドローラ4の回転 方向を記憶しており、ウエブ進行経路を選択する ことによって各ウエブガイドローラ4は正しい回 転方向に回転しかつ洗浄被を療布するよう制御する。

第4回にモータ。減速機及びクラッチを内蔵したウエブガイドローラ4の断面図を示す。

ウェブガイドローライは、 面端のペアリングを a、23bを介して支触22a、22bにな水で たでおり、クラッチ31が離れている合とは合い が拘束されていて動産22aによっライドローラ が拘束されていでしまってがイドローライドの大力が にはもウェブガイドローライは一ライ にはもウェブガイだりモータイ の内部にはモータ24が配数イドロータの研究 21に一体に関定されている。モータの研究 21に一体に関定されている。モータの研究 21に一体に関定されている。 21に一体に関定されている。 21に一体に関定されている。 21に一体に関連なって対域の対象によって接続の出たの ような接続自在のクラッチ31によって接続 ている.

ウェブガイドローラ両端の支種 2 2 a , 2 2 b はそれぞれサイドプレート 3 2 a , 3 2 b に支水 され、何転しないように拘束されている。

このような構造において、クラッチ31を作動 させて減速機の出力輸30とウエブガイドローラ の支輪22aを結合させた状態にしてモータ24 に通讯すると、モータの出力軸27すなわちロー タ25はウェブガイドローラ両端の支輪22aに 拘束されている為に回転せず相対的にモータのス テータ28が回転する。すなわちウェブガイドロ - ラ4が回転させられることになる。同様にクラ ッチ31を作動させ且つモータ24への電力を供 給しない状態でウエブガイドローラ4を手で回転 させる等のトルクで回転させようとすると、例え は1対50ないし1対100の高減速比の減速機 を用いていればモータのロータ25を50~10 0倍に増速して回転させることになり極めて大き なトルクが必要となる、従って新聞的転機のウエ ブガイドローラの如くウエブの走行に従って小さ

なトルクで回転するということは不可能となる。

しかし、クラッチ31を切り減速機の出力権30の拘束を解くならばウエブガイドローラ4はペアリング23a、23bの抵抗のみで軽く回転可能の状態となる。

第5回に第4回とは別の構造のウエブガイドロ - ラ4の新面図を示す。

〔発明の効果〕

本発明によればウエブガイドローラを印刷中に

は駆動級から切り難しウエブによって自由に回転 できるようにし、洗浄に際しては駆動級と結合し 逆転させウエブガイドローラ表面の汚れをウエブ によって除去する手段と、さらにウエブガイドロー 一ラに洗浄被を強布する手段とを設けこれらを自 動制御することにより自動的にウエブガイドロー ラ表面を洗浄することが可能となり洗浄作業の効 求が向上する効果が得られる。

4、図面の簡単な説明

第1回は本発明の実施例に係る新聞軸転機の側面図、第2回は第1回に示した新聞軸転機のウエブの走行経路を示す側面図、第3回は第1回に示した新聞軸転機のウエブの走行経路が変り一部のウェブガイドローラが逆転することを示す側面図、第4回は本発明の実施例に係るクラッチを内蔵したウエブガイドローラの断面図、第5回は本発明の実施例に係るブレーキを外付けしたウェブガイドローラの断面図である。

3…ウェブ、4…ウエブガイドローラ、

し2…制御装置、24…モータ、29…減速機、

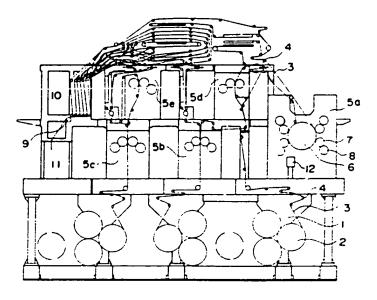
特閒平1-204740(4)

30…減速機の出力値、、31…クラッチ。

32…サイドプレート、34…プレーキ機構

代理人 磐 招 艮 之

第1図



1: 1841292F

2: 7570-12

3: 227°

4:722011-3

50. 3219812=+1 5c,5b.100 - 219812=+1

5e,5d: /5/80-@1/8/12=+/ 6: /5 40

7: ブランクットのご

8: 56.82

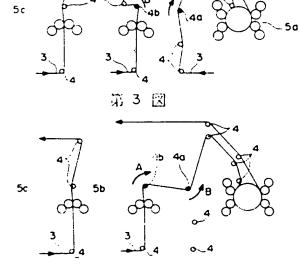
9: 8-20-3

10: 77778

11. 177

31 9, 4 2 32a 22a 23a 4 21 30 29 28 27 25 26 23b 22b 32b

第 5 図

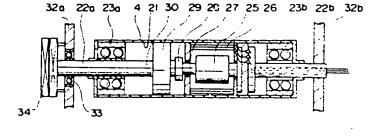


3 250

So Repleton ...

第 2 図

Д



4 、ウェック・アロ・ラ 505c - そのときのボスニット 25) z - 5 c D - 5 29) /402 /44

25. /4/27/27 311 クラッチ 341 フン・チカル - 4) ウェブカブバロ・5 26) モータのステ・タ 30) ベエ供のおかね

32、グッチフセー/